



直峰通信



令和6年3月15日(金)発行

安塚分校最後の卒業式

3月4日(月)、県教育委員会教育長 佐野 哲郎 様を来賓としてお迎えし、第7回卒業証書授与式を行いました。暖冬で雪解けも進み、春の足音がすぐそこまで聞こえてきたかと思っていた矢先、前夜から降り始めた雪が、辺り一面を雪景色へと変えました。安塚分校にとって最後の卒業式は、雪国安塚らしい景色の中、厳粛かつ温かな雰囲気で行われました。

山田校長は、「礼儀正しくあってほしい」(関わる全ての人に尊敬の念、思いやりと感謝の気持ちを持つこと)、「何をなすべきか考えてほしい」(夢を見つけ、その実現のために現在なすべきことを常に考えること)、「常に勇敢であってほしい」(自分を信じ、努力を惜しまず挑戦し続けること)の3つを卒業生に望み、式辞としました。

佐野教育長は、一人一人の多様な幸せや社会全体の幸せ、すなわちウェルビーイングを実現するため、「『健康 自律 敬愛 創造』という校訓のもと、予測困難な時代において、自ら社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持し、発展させていくことを期待しています。」と祝辞を述べられました。

卒業生代表の言葉では、「入学当初は見知らぬ土地で不安な気持ちがあったが、仲間との楽しかった思い出や時には進路活動など苦しかったこと通じて、最終年度は学校行事などクラスのみならず一緒に創り上げる楽しさを感じることができた。」と述べました。また、ここまで支えてくれた家族や先生への感謝とともに、もらった力を胸に、明日からの人生を力強く歩んでいきますと決意を述べました。

在校生がいないため、前日の会場設営、予行も卒業生だけで行いました。安塚分校で過ごす日は今日が最後となりましたが、生徒たちの心の中に忘れられない思い出として残るすばらしい式となりました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

ありがとう安塚

安塚分校は、この3月末をもって、その歴史に幕を閉じることとなりました。コロナ禍以前ではやすづか保育園やあいれふ安塚の皆様と交流させていただき、また昨年度まで「キャンドルロード」、令和4年度には6年ぶりの開催となった「えちご・くびき野 100 km マラソン」、今年度は「安塚神社春祭りの神輿渡御」など、様々な場面で安塚高校時代から安塚分校まで御支援、御協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

学校の教育活動の様子をどれだけお伝えできたかは分かりませんが、この「直峰通信」も今回で最終号となります。安塚分校の卒業生の多くは地元上越市で活躍しています。上越地域の担い手として活躍してくれると職員一同期待しておりますので、今後とも御支援をよろしくお願いいたします。



新潟県立高田高等学校安塚分校

【担当 教頭 滝澤 祐樹】

〒942-0411 上越市安塚区下方 129 番地 Tel 025-592-2306(直通) FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/> mail school@takadayszk-h.nein.ed.jp